

◇愛知県計量士会の調査活動によって、商工会議所で計量講習会の実現

# 中小企業向け計量研修の取り組み



2010年3月5日

愛知県計量士会 日高鉄也

# 中小企業の計量研修の必要性

## ◇測定誤差が出る状態が多い

- \* 測定器の定期検査、ISO9001のコンサルタントから汚れ、キズがあり測定誤差のある状態を多く見ている。

## ◇職場に測定の指導ができる人がいない

- \* 中小企業の職場も自動化、ライン化が進んで測定が教えにくいこと及び、教える人が少ない状態になっている。

## ◇社会的にも測定の指導ができる人がいない

- \* 中小企業中央会の新現役チャレンジ事業の指導員（300余名）の中に、ノギスの取扱い方の指導のできる人がいなかった。そこで計量士に依頼があった。

# 中小企業向けの計量研修の状況

## ◇測定器の使用者への計量教育の未実施

\* 計量団体は、適管の計量主任者などへの教育は実施しているが、中小企業への教育は未実施の状態。

## ◇愛知県計量士会で計量士の職域の拡大の調査

\* 職域の拡大案の検討(2006年～)

## ◇緊急雇用調整助成金活用の講習会の実現

\* 講習会の計画を商工会議所に申し入れ講習会の実現

## ◇中小企業への教育は、計量士の職域の拡大として社会の必要性にこたえられることが出来る

# 第2回計量ワークショップ

西尾市商工会議所:2010年1月22日



## 第3回計量ワークショップ

2010/02/13



## 第2回(2010/01/22) 計量ワークショップのカリキュラム

	項目	内容	担当	分
オリエンテーション	挨拶 アセスメント	西尾市商工会議所(宮地課長) 愛知県計量士会長(馬場計量士)	日高	30
測定器関係の講習	役割・構造・ 取扱い	品質、生産性向上への役割、マイクロメータ、ノギスの構造と取扱い方をビデオカメラで撮影し、拡大投影及び、You Tube*の利用	同上	105
計量器関係の講習	役割・構造・ 取扱い	秤の役割、種類、構造、取扱い方	馬場	30
まとめ	アンケート	講習会の感想、次回の希望など	日高	15

出席者の事業所は、すべて150名以下の中小企業である。

\* You Tube にあらかじめ「マイクロメータの掃除の仕方」など、アップしておいて講習会の中で上映した。<http://www.youtube.com/watch?v=AUO9kH99prA>

# 講習会でのアンケートの集計

	項目	教えてくれる	どちらとも いえない	教えてくれない
2009年10月 出席者数:48	先輩は、測定の5S* を教えてくれるか	25%	54%	21%
2010年1月 出席者数:60	先輩は、測定の方 法を教えてくれるか	29%	41%	30%

講習会の参加者は、24名が2回とも参加していた。



先輩は、測定方法も5Sも積極的に教えてくれない

測定の5S\* は、測定についての整理、整頓、清掃、清潔、しつけ

## 第4回計量ワークショップ

### C、加工不良防止の測定方法セミナー

★日時 5月24日(月)13:30～16:30

★講師 愛知県計量士会  
日高鉄也氏 中野廣幸氏

★内容 加工不良品を出さないための測定方法  
(測定器の選定、校正、保守保管、点検方法)  
をやさしく解説します。

### D、ポカミス防止策セミナー

★日時 5月17日(月)13:30～16:30

★講師 トコロ・コーポレーション代表/元ソニー(株)  
所 盛雄 氏(工場経営コンサルタント)

★内容 ポカミスの発生要因の分析、改善の手法  
について事例などを交えて分かりやすく解説し、各自  
が現場での品質改善に役立てます。

# 今後の進め方

## ☆研修組織の確立

日計振の委員会の設立、商工会議所、中小企業団体等と連携して組織の確立、中小企業へ計量研修会、計量の現場指導を提供する。

## ☆計量士の職域の拡大

集合研修、事業所での個別教育により中小企業の計量課題を解決し、計量士の職域の拡大をはかる。

## ☆カリキュラムの確立

中小企業の日線を重視して、関係者に提案する。

終わり